

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06203
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学			開催方法 (キャンパス・施設)		■対面 (広島キャンパス) □オンライン (同時・録画)	
2. 科目名	日本と世界の言語と文化						
	学問分野	番 号	1 1	名 称	文化・文学		
3. 担当教員	(1) 工藤卓司 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 准教授) (2) 福田 涼 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 講 師) (3) ジェシカ・タインズ (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 講 師)						
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和6年7月27日 (土) ~ 令和6年7月27日 (土) 9時00分 ~ 12時20分 (60分×3回)						
個別開講日	1 回目 7/27	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /	
5. 募集定員	150人						
6. 科目内容・ 授業計画	県立広島大学・地域創生学部・地域文化コースでは、さまざまな文化的背景をもった人々がどのように共生していくか、多様な地域の歴史・文化をどのように継承し活かしていくかを学ぶことができます。本講義では、3名の講師が、地域における国際化や多文化共生の実現に向けて、日本語と日本文化、中国語と中国文化、そして英語と米国文化についてお話しします。 (1) 福田 涼「谷川俊太郎『朝のリレー』が描く『地球』」(9:00-10:00) 谷川俊太郎の詩「朝のリレー」(1968年)は中学国語の「定番教材」の一つです。多くの中学生が「連」や「対句」、「口語自由詩」といった概念・用語を、この詩から学んでいるのです。こうした既習事項を踏まえつつ、本講座では、この詩が発表された当時の世界情勢に注目しながら、作品の精読を行います。「地球を守る」「ぼくら」とは一体誰なのか、本講座を通してぜひ一緒に考えましょう。 (2) 工藤卓司「古代中国における礼文化」(10:10-11:10) 中国史家・銭穆が「中国の核心思想は『礼』である」と言ったように、中国の文化を理解する上で「礼」はとても重要な位置を占めています。また、中国文化が東アジアの歴史の中で果たしてきた役割の大きさを考える時、「礼」は私たち日本人にとっても大切な遺産です。本講座では、特に古代中国儒家思想の中の「礼」文化に焦点を当てて、その構造と意義について一緒に考えます。 (3) ジェシカ・タインズ「カテゴリー化の能力とコミュニケーション」(11:20-12:20) 人間は無意識のうちにあらゆるものをカテゴリー化し、事物を認知しています。こうしたカテゴリー化の能力は文化などの要素に影響を受けるため、カテゴリー化について学べば言語や文化もより理解しやすくなるでしょう。本講座では、英語ネイティブ向けメディアを題材に、私たちが持っているカテゴリー化の能力がコミュニケーションにどのように関係するかを一緒に考えます。						
7. 受講料	無料						
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 不要						
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5人) 定員超過の不許可は選考により決定						
	② 不許可・不開講通知日: 6月末まで						
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし						
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。						

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。